

- 我が国は基礎研究力が高く、医薬品産業の観点からも世界有数の新薬創出国の地位を維持している一方、近年、化合物探索や非臨床試験、治験薬製造といった**創薬プロセスへのAI導入（AX）の動きが諸外国で加速**しており、創薬を取り巻く環境は著しく変化している。
- 「創薬」については、日本成長戦略の中でも戦略17分野の一つとして選定されたことを踏まえ、創薬AXを実証・実装するための国内の技術的基盤を構築し、**我が国の創薬環境を抜本的に強化する必要がある**。
- そのため、創薬ターゲット探索から候補化合物設計、実験、解析を経て治験に至るまでの一連のプロセスの高度自動化・自律化の実現を目指し、デジタル（in silico）とフィジカル（ウェットを含めた実験・製造システム）の双方に加え、ソフトウェア・ツール基盤としての実験データ・メタデータの共通規格化、セキュリティが担保されたTRE（Trusted Research Environment）等を含めた基盤整備を通じて、**これまでの創薬プロセスの延長線上にはない新たな創薬手法の確立を目指す**。
- そのため、今後新たにAMED研究「自律型AI創薬実証事業」を創設し、海外最先端の創薬AIベンチャースタジオ等を活用した創薬・製造プロセスラボでの開発の実施への支援により、我が国の創薬プレイヤーが自らのシーズを持ち込み、成果を出せることの実証を通じて、AI創薬におけるベストプラクティスを整理するとともに、基盤整備に資する知見を収集し、国内の自律型AI創薬基盤へのフィードバックに取り組む。これにより、**我が国における創薬プロセスのAXを推進し、臨床試験までの創薬期間の大幅短縮、研究開発コストの低減及び革新的医薬品の創出につながることを期待**される。